

# 卒業生からのメッセージ

東京医科歯科大学 山本凜太郎さん 令和4（2022）年3月修士卒業

2024年4月12日

私は現在、東京医科歯科大学 臨床解剖学分野において、技術職員として献体業務に従事しております。「献体」とは、医学・歯学の大学における解剖学の教育・研究に役立たせるため、自分の遺体を無条件・無報酬で提供することをいいます。私は、献体されたご遺体のお引き取り・管理・保存などを行い、大学における解剖学実習や解剖学的研究のサポートをしています。

また、同教室に博士課程の大学院生としても在籍しており、解剖学的研究を自身でも行っております。メスやピンセットを使って行う肉眼解剖学的な解析や、組織切片を作成して染色し、顕微鏡下で観察を行う組織学的な解析を中心に研究をしています。現在は、骨や筋、関節などの形態を明らかにすることで、整形外科疾患の病態理解やリハビリテーションへの応用を目指しており、作業療法士としての視点をもとに、整形外科の先生方とともに研究を進めています。

大学4年間においては、作業療法を学ぶ上で必要な様々な学問を学習することになりますが、私はその中でも、基礎医学として位置づけられる「解剖学」に興味を持ったことをきっかけに、大学院への進学、および現職へ就くこととなりました。大学は自分が興味関心を持ったこと、知りたいと思ったことに熱中して取り組める場です。自分が面白いな、もっと知りたいな、と感じたことを突き詰めていく、というのも充実した大学生活を送る上で大切なことだと思います。

